

製品名: Cdc16 (リン酸化 Ser560) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04411**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	72kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC16
別名	CDC16; ANAPC6; Cell division cycle protein 16 homolog; Anaphase-promoting complex subunit 6; APC6; CDC16 homolog; CDC16Hs; Cyclosome subunit 6
遺伝子 ID	8881.0
SwissProt ID	Q13042
免疫原	抗血清は、ヒト CDC16/APC6 の Ser560 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 526-575

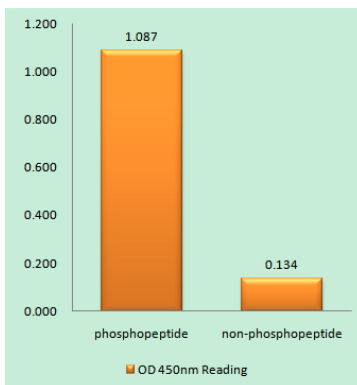
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質ユビキチンリガーゼとして機能し、多タンパク質 APC 複合体の構成要素である。APC 複合体は、26S プロテアソームによる分解のために細胞周期タンパク質を標的とすることで、有糸分裂からの離脱を制御するサイクリン分解システムである。APC 複合体の各構成要素タンパク質は、真核生物間で高度に保存されている。このタンパク質、および他の APC 複合体タンパク質は、テトラトリコペプチドリピート (TPR) ドメインを含む。このタンパク質ドメインは、タンパク質間相互作用および多タンパク質複合体の組み立てに関与することが多い。異なるタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]、機能:有糸分裂の進行および細胞周期の G1 期を制御する細胞周期調節性ユビキチンリガーゼである後期促進複合体/サイクロソーム (APC/C) の構成要素。、経路:タンパク質修飾;タンパク質のユビキチン化。、PTM:リン酸化。Ser-560 のリン酸化は、有糸分裂時に特異的に起こる。、類似性:APC6/CDC16 ファミリーに属する。、類似性:7つの TPR リピートを含む。、細胞内局在:細胞周期のあらゆる段階で中心体、および有糸分裂紡錘体に CDC27 と共局在する。、サブユニット:APC/C は少なくとも 11 のサブユニットから構成される。PPP5C および CDC20 と相互作用する。、

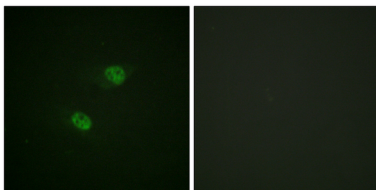
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;卵母細胞減数分裂;ユビキチンを介したタンパク質分解;プロゲステロンを介した卵母細胞成熟;

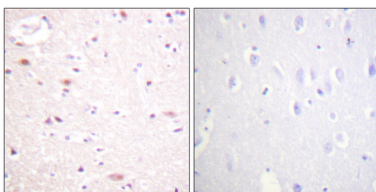
画像データ



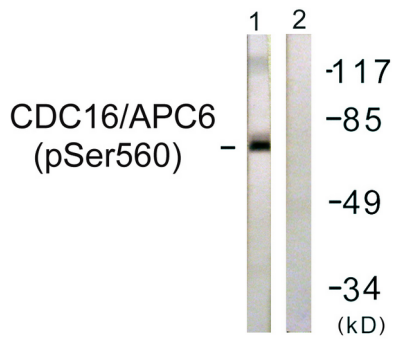
CDC16/APC6 (リン酸化 Ser560) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



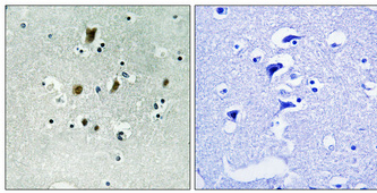
CDC16/APC6 (リン酸化 Ser560) 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



CDC16/APC6 (リン酸化 Ser560) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



CDC16/APC6 (リン酸化 Ser560) 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。